

各科の教員養成の目標

経済情報学部経済情報学科

高等学校教諭一種免許状(情報)、高等学校教諭一種免許状(商業)

社会に貢献できる実践的な学問研究を学び、生徒達がこれからの社会を継承・創造していくことを指導する能力を身につけた教員を養成することを目標とします。

高等学校一種(情報)

高等学校情報科教育において求められる、情報技術が社会で広く活用されている現状認識および、その情報技術の理解を深め、修得した知識を生徒達に伝達し指導する能力を身につけた教員を養成することを目標とします。

経済情報学科専門教育課程では経済系・経営系・情報系の各専門教育科目から知識と技術を修得し、情報科教育法Ⅰと情報科教育法Ⅱを通してわが国の教育制度や教育の動向と高等学校情報科の教科内容を理解するとともに、指導案の作成などを重ねることで実践的な教育法を学べるようにしています。

高等学校一種(商業)

高等学校商業科教育において求められる、経営・会計に関する専門知識や技術が社会で広く活用されている現状を理解し、修得した知識や技術を生徒たちに伝達し指導する能力を身につけた教員を養成することを目標とします。

経済情報学科専門教育課程では経済系・経営系・情報系の各専門教育科目から知識と技術を修得し、商業科教育法Ⅰと商業科教育法Ⅱを通して高等学校商業科の学問領域と科目の関連を理解するとともに、教材研究や指導案の作成などを重ねることで実践的な教育法を学べるようにしています。

大学院(専修免許課程)経済情報研究科

高等学校教諭専修免許状(商業)

高等学校教諭一種免許状(商業)の取得で修得したことを基礎とし、経済系・経営系・情報系にわたる幅広く偏りのない知見を有し、特に経営・会計に関する高度な専門知識に基づいて、主体的・協働的な学習活動によって深い学びを実現する単元設計・教材開発を行うことのできる力量を身に付けた教員を養成します。

経済情報研究科の教育課程では経済系・経営系・情報系といった幅広い分野の基礎科目と専門科目を学修するとともに、選択した研究演習Ⅰ・Ⅱと研究指導(論文指導)Ⅰ・Ⅱにより、商業教育に生かせる高度な専門知識と研究方法を学べるようにしています。

芸術文化学部日本文学科

中学校教諭一種免許状(国語)、高等学校教諭一種免許状(国語)

日本の言語文化への深い理解を獲得し、生徒達がこれからの日本文化を発展させ、言語能力を高めて社会によりよく参画できるよう指導する能力を身につけた教員を養成することを目標とします。

日本文学科専門教育課程では、日本語学、日本文学、中国文学、欧米文学、民俗学、伝承文学、文芸創作に加えて国語教育学を専門教育科目に位置づけ、国語科教育法と国語教育学専門演習を通して実践的な教育法を学べるようにしています。

大学院(専修免許課程)日本文学研究科

中学校教諭専修免許状(国語)、高等学校教諭専修免許状(国語)

中学校教諭一種免許状(国語)・高等学校教諭一種免許状(国語)の取得で修得したことを基礎とし、日本の文学と言語文化に関する高度な専門知識に基づいた幅広く偏りのない知見を有し、主体的・協働的な学習活動によって深い学びを実現する単元設計や教材開発を行うことのできる力量を身につけた教員を養成します。

日本文学研究科の教育課程では、日本古典文学、日本近代文学、日本語学、漢文学の特講と演習を基幹科目として、言語学、米文学、比較文学、地域文学、文芸創作、語学実践、英語学、哲学・倫理学の特論を周辺領域の専門科目・関連科目として配置し、国語科の基盤となる高度な知見を幅広く獲得できるようにします。また、国語教育学を配置して、専門的な学修を国語教育に活かすことを学べるようにしています。

芸術文化学部美術学科

中学校教諭一種免許状(美術)、高等学校教諭一種免許状(美術)

芸術文化を深く理解し創造する技能と感性を培い生徒達が伝統を継承しつつ、これからの時代の芸術を創造できるよう指導する能力を身につけた教員を養成します。

美術学科専門教育課程では 日本画・油画・デザインの各専門実習科目から知識と技術を修得し、美術理論や美術史、彫刻や木工演習に加えて、美術科教育法と美術科教育法演習を通して学習指導案の作成や模擬授業を重ねることで、教育理念の形成と美術科教育の教材・題材・材料・用具・技法などの基礎知識をもとにして、その指導法について研究し実践的教育法を学べるようにしています。

大学院(専修免許課程)美術研究科

中学校教諭専修免許状(美術)、高等学校教諭専修免許状(美術)

中学校教諭一種免許状(美術)・高等学校教諭一種免許状(美術)の取得で修得したことを基礎とし、芸術分野にわたる幅広く偏りのない知見を有し、特に日本画・油画・デザインの各研究分野に関する高度な専門性と実践力を兼ね備えた能力に基づいて、主体的・協働的な

学習活動によって深い学びを実現する単元設計・教材開発を行うことのできる力量を身に付けた教員を養成します。

美術研究科の教育課程では、日本画・油画・デザインの各専門実習科目を研究し、基礎理論科目では美学、美術史、芸術論、デザイン学などの特講、専門演習科目では材料技法や絵画、デザインにおける演習の中から自身の研究に応じた科目を選択し知見を深めることで、美術教育に生かせる高度な専門知識と実践的な研究方法を学べるようにしています。